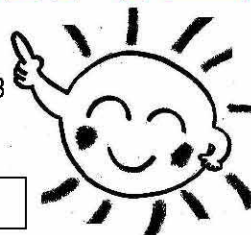


SUNSHINE

第29号 2008年 7月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@po.taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/



太陽開発 鹿児島

検索 クリック!!

賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します! 松/尾様

ヴィクトワール



壱番館 (中山)

貳番館 (宇宿)



参番館 (郡元) 五番館 (鴨池)

中山、宇宿、郡元、鴨池に4棟、賃貸を所有していらっしゃいます☆間取りは1Kタイプ、2K(メゾネット)タイプ、3LDKのお部屋がありますよ。マンションの設備も、現代ニーズに合わせて工夫されています☆玄関横のエントランスにはいつも綺麗に、季節の花が飾られています。入居者の方が気持ち良く、快適に過ごせる様に、オーナー様がいつも花の手入れ、掃除をいらっしゃいます。

私たちが案内で伺っても、いつも綺麗でお手本にさせてもらってます☆(^_^)>

😊こびとがお出迎え★

4棟の玄関エントランスにはかわいい小人がお出迎えしてくれます♪

お花の手入れやお掃除が行き届いていて、お客様も、案内する私たちにも明るい気分になります♪(*^-^*)



♪魚釣りに行ってきました♪

こんにちは☆皆さん暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。先日、私の趣味でもある魚釣りに行ってきました。今回は当社の川越を含め6人で船釣りへ♪(^o^)/狙いは鯛! 釣り方はてんや釣り。仕掛けは生き海老を付けた針と重りを海の底に這わせて釣る方法です。鯛は合わせるのが難しいと聞いていたのですが、やってみるとやはり難しいでした(^_^;) 1回の当たりで合わせないとなかなか釣れません。



小振りですが4匹釣りしました☆

集中力が必要な釣りだと感じました。でも、なんとか4枚釣ることが出来ました…。さほど大きくはありませんでしたが、塩焼きにしておいしく頂きました。船釣りはとても久しぶりで、早朝の海の風はとても気持ち良かったです☆ また機会があれば行きたいです!

～原口～



騎射場探訪 茶暮里 (さぼり) 居酒屋 奥様 神宮司 様

弊社がお世話になっている「騎射場」周辺のお店のご紹介第18弾!!

騎射場電停から歩いて3分♪♪

どんぐり横丁通りにある『茶暮里(さぼり)』様は今年の11月で27年を迎えます☆気になるお店の名前の由来は、以前天文館の方で喫茶店をされていた時に、皆さんがさぼりに来る(ゆっくり休みに来る)というイメージから、お店の名前に付けられたそうです♪(*^▽^*)もちろん、さぼってもらうのではなく、くつろいで頂きたいという気持ちがこもってます♪♪その名の通り、学生さんや若い社会人の方の常連さんが多くいらっしゃるそうですよ☆ 私たちもゆっくりとくつろいでご飯を食べることが出来ました♪♪(^-^)

☆太陽開発のおすすめ☆



中華オムレツ

ふわふわの卵に、とろとろのタレが絶妙!! ☆ ママすごいです!! ☆



茶暮里(さぼり)

荒田2丁目44-11
TEL099-254-8237

営業 18:00~25:00
定休日 日曜日
予約時のお刺身がー受け付けます♪



☆茶暮里様の目玉☆ びっくりコロッケ!!

その名の通り、本当にビックリします!! 大きいです!! 中身もぎっしり詰まっています、ずっしりと重さがあります♪♪この大きさを揚げるのに7~8分はかかるそうです☆愛情たっぷり☆手の込んだ手作りコロッケは食べ応えバツグン♪♪そして美味!! ☆是非食べてみて下さい☆

ママの手作り

家庭的な料理が食べられます

こんなにたくさんの料理を、実は奥様一人で作っていらっしゃいます。愛情のこもった手料理は、出来立てで美味しい☆ 一人でも気軽に駆けちやう☆ そんなお店です☆(^-^)



うまい♡

今月の一冊 西の魔女が死んだ 梨木 香歩



1959年、鹿児島生まれ。英国に留学、児童文学者ベティ・ホーエンに師事。『西の魔女が死んだ』で日本児童文学者協会新人賞、新美南吉児童文学賞、小学館文学賞を、『裏庭』で児童文学ファンタジー大賞を受賞。

中学生になって学校が苦痛になったまいは、母の勧めで、季節が初夏へと移り変わる一月あまりを「西の魔女」の元で過ごした。西の魔女こと、ママのママ、つまり大好きなおばあちゃんから、魔女の手ほどきを受けるのだが、魔女修行の肝心要は、何でも自分で決める、ということだった。

100万部を超える大ロングセラーの児童書です。私も、娘の夏休みの指定図書だったことから、手にしてみました。ちょうど、小学校高学年から中学生位の少女達に読んで欲しい作品ですが、大人も充分楽しめますし、学ぶところも多いです。また、くどくない文章で、説明は少なめですが、きちんと大事な事が伝わるところが、作者の力量だと関心して読みました。その作品が映画化され、今(まだやっているから?) 上映中です。まだ観てはいませんが、雑誌やリーフレットで見る限り、作品のイメージそのままのような感じがします。本を読んで、イメージを膨らませ、映画で再確認してみるのも面白いかもしれませんね。

地名がわからん

平成の市町村合併で生まれた市町村名を聞いてピンとこず、場所はどこだろうかと考えたことはありませんか。行政上のメリット・デメリットは別として、慣れ親しんだ地名がなくなるのは淋しいものです。私は鹿屋出身ですが、大隅方面では高山と内之浦が合併により肝付町へ、大根占町と田代町が錦江町へ、根占町と佐多町が南大隅町へと変更されました。昔の記憶を思い出す時、地名はとても重要な気がします。例えば、佐多だったらパッションフルーツやライチの果物を思い浮かべ(幼い頃時々貰っていた)、内之浦はロケット基地、高山は流鏑馬。最近の人は、肝付町のロケット基地、南大隅町のパッションフルーツ、ライチと言うのだろうか。

吉岐、対馬の地名は「魏志倭人伝」に記されていたということですが、地名は歴史の経緯を推理させる重要な媒体なので、可能なかぎり残していくべきだと思います。(川越)